

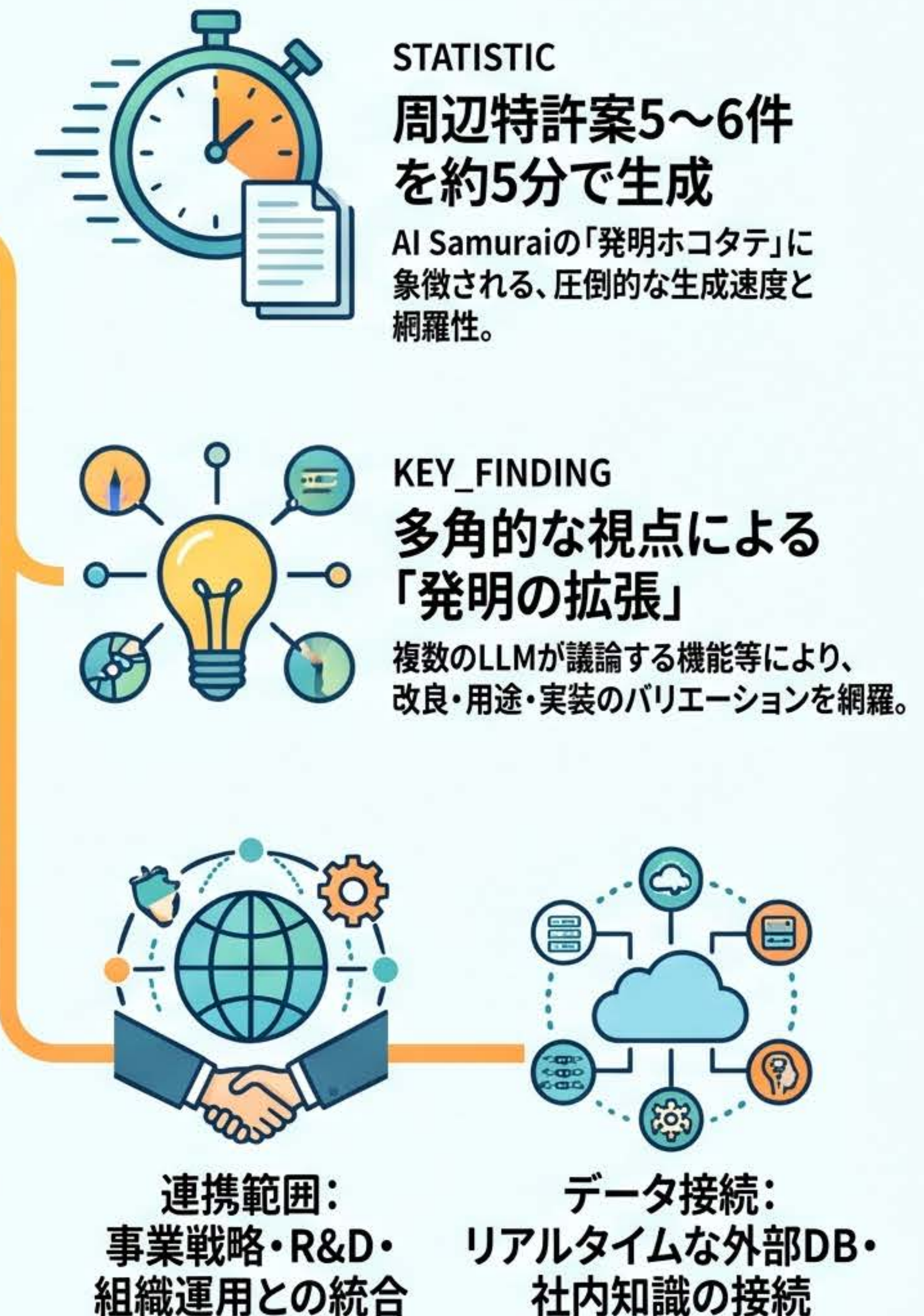
AIによる特許網構築の進化：2025年 vs 2026年 知財情報フェア比較

2026年の知財情報フェアでは、AIは単なる明細書作成や検索の枠を超え、基本特許から周辺特許を自動生成する「特許網（ポートフォリオ）の設計」へと進化しました。ツール単体ではなく、事業戦略や組織運用とAIをいかに繋ぐかが議論の中心となっています。

2025年の傾向：個別の発明



2026年の進化：特許網の面展開



実務・戦略への統合 (INTEGRATION)

